

〇ご契約森林の環境への貢献度を評価し、お知らせします。

企業等が環境報告書等で環境保全のための取組を明らかにする場合の参考となるよう、企業等の皆様からの要請に応じて、契約した森林が発揮している水源かん養、山地保全、環境保全（二酸化炭素の吸収）への貢献度について評価し、毎年1回お知らせしています。

（環境貢献度評価の通知例）【単年効果】

（1）契約内容

契約箇所：〇〇森林管理局 〇〇森林管理署 〇〇国有林〇林小班  
 面積：〇 ha  
 持分割合：契約者〇：国〇  
 主な樹種：〇〇

（2）評価額・物量結果

測定項目	評価項目	年間効果評価額（千円）	物量
水源かん養便益	洪水防止便益	〇〇	〇 m <sup>3</sup> /sec
	流域貯水便益	〇〇	〇 m <sup>3</sup> /年
	水質浄化便益	〇〇	〇 m <sup>3</sup> /年
山地保全便益	土砂流出防止便益	〇〇	〇 m <sup>3</sup> /年
環境保全便益	炭素固定便益	〇〇	〇 CO <sub>2</sub> t/年

（3）参考資料

御社の契約森林について、持分割合を考慮して、1年間の効果を換算した結果は以下のとおりです。

① 水源かん養便益（水源かん養便益のうち流域貯水便益及び水質浄化便益）

森林は、森林内に一時的に水を貯め、森林外にゆっくり流すことにより、河川の流量を平準化し、洪水や渇水の緩和、水質の浄化に役立っています。これらの働きは、森林がない状態と比べて、森林があることにより増加した水の浸透量で計算されます。

貯水量 水質浄化量	2リットル入りペットボトル 〇万本分 (〇m <sup>3</sup> /年)
--------------	---

② 山地保全便益（土砂流出防止便益）

森林は、落ち葉や森林内の植生によって土壌が覆われ、雨水による土壌の浸食や流出を防いでいます。この働きは、森林がない状態と比べて、森林があることにより減少した流出土砂量で計算されます。

土砂流出防止量	10t ダンプトラック(5.5m <sup>3</sup> /台) 〇台分 (〇m <sup>3</sup> /年)
---------	--

③ 環境保全便益（炭素固定便益）

森林は、光合成を行うことにより、大気中の二酸化炭素を吸収して、有機物を生成し、樹木の幹等に貯蔵し、地球温暖化の防止に寄与しています。この働きは、幹の体積の成長から計算されます。

二酸化炭素吸収・固定量	ヒト1人が1年間に排出するCO <sub>2</sub> 〇人分 (CO <sub>2</sub> 〇トン/年)
-------------	--